

# The TOYAMA YMCA NEWS

2017/1月号

No. 209

■発行 公益財団法人 富山 YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り 1-3-14

TEL:076 (425) 9001 FAX:(424)6937

■発行人 松田 誠一

■URL <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>

■Email [tutumi.kyoyu@toyamaymca.org](mailto:tutumi.kyoyu@toyamaymca.org)

■第209号(通巻) 2017年1月12日発行



## 2017年 年頭挨拶

あけましておめでとうございます

皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

世界では保護主義が台頭したり、多くの難民が行き場をなくしたりしている現状は、民主主義や根本的には人間の存在意義が問われていることではないでしょうか。

その中であって私たち富山YMCAにおいては、これから会員事業や公益財団法人および社会福祉法人の次年度に向けた計画を進めていきます。今年度の事業の検討や評価を踏まえつつ、YMCAの理念が達成されるべく、事業方針、事業計画、事業予算やそれを遂行するための体制も検討されつつあります。

今年度に誕生した「ふなはし保育園」は二年目を迎えようとしていますが、次へのステップとしてこども園への移行をめざし、学童クラブや子育て支援センターとの一体化した運営を図るため多額の費用が必要となりますが、新しい園舎の建設を計画しつつあります。

これらの事業を達成し、充実したものとするには、会員の皆様のご協力を欠くことができません。今年もまだまだ先の見えない状況が続くように思いますが、今年一年を皆様が健康のうちにそれぞれの思いや目標を達成することが出来ますよう祈りつつ、富山YMCAの2017年度の計画に対し、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

富山YMCA常議員会議長 中島 完一



## 妙高高原わいわいスキーキャンプ報告



12月26日(月)～29日(木)の期間、妙高高原赤倉温泉スキー場で4日間のスキーキャンプを実施しました。例年に比べるとやや積雪が少なく、時間の経過と共に土が見られた初日でしたが、やはり赤倉は日本トップクラスの豪雪地帯！地元の方が『赤倉マジック』と称するドカ雪が降り、なんと一夜で50センチの積雪！！メンバーもリーダーも極上のパウダーの中を、気持ちよさそうに滑走していました。

最終日のワッペンテストは、雲一つない青空の真下で開催しました。メンバーたちは、トレーニングの成果を存分に発揮し、見事な滑りを見せてくれました。4日間のキャンプ中は、大きなケガや体調を崩すこともなく、とても楽しい時間を過ごすことができました。

春休みには柵池高原スキー場(長野県)に舞台を移し、2泊3日のスキーキャンプを行います。是非、みなさんご参加をお待ちしています。



### カマキリコラム

NO.57



松田 誠一

(富山 YMCA 総主事)

### 「富山型」+「避難所」

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年末、富山型デイサービス提唱者の惣万さん、阪井さんとじっくり話をする機会を得ました。決して意図的ではなく、他県の人にお二人を紹介する際に、あらためて私も一緒に話をさせていただきました。その中で信仰心にまで至る深い話をする事ができました。「このゆびと一まれ」も「にぎやか」も富山人ならご存知のように、縦割り行政の規制を排し、民間の思いと柔軟な発想が、社会の価値観までも変えてしまうこ

とになった素晴らしい取組みです。今や、この富山発の共生の価値観が全国で共有され、広がりつつあります。惣万さんは、ごく自然な家庭環境を目指し、子ども、高齢者、障がい者がごく普通に支え合いながら生きる社会を「このゆびと一まれ」の中に求めました。阪井さんは、高齢者であっても施設内で役割を担うことで、元気を取り戻し、子どももまた高齢者を元気にするという重要な働きを果たしているとおっしゃいました。いずれも共に支え合う社会の形成を目指しています。と、このようなことを再度振り返っていた時に、新たな発想が思い浮かびました。今年2月に災害ボランティアネットワーク代表として講演をすることになっており、熊本の避難所運営についても報告をすることになっていますが、本震の翌日に避難者自身がトイレ掃除やゴミ収集など役割を担っていただき、最初の炊き出しには自宅の里芋などを持参いただくなど活躍なさっていたことを思い出しました。しかし6月には多くの外部からのボランティアによる支援体制が充実し、物資も豊富に供給されたことによって、すべて支援に頼ろうとする避難者の変化に、避難所運営担当者も危機感を感じていました。もう一つの別の避難所では、避難者の中に班を作り、清掃や食事配給などの仕事を自らで担当し生き生きと取組まれていました。避難所運営と富山型デイサービスが頭の中で結びついて、これこそまさに「富山型避難所運営」が浮かんだわけです。一年間の出来事が頭の中に一挙に押し寄せた年末となりました。共生の価値観の代名詞とも言える「富山型」が、我が国に限らず、世界に広がることを願います。支え合う社会とは正反対の自国の利益を第一に考える国が生まれつつありますが、愛と奉仕の業に取り組むYMCAとして、富山の地に倣い、新たな価値観を発信していく一年でありたいと思います。





## 2/22 はピンクシャツデー（世界的いじめ反対運動）

★★★

2007年カナダで始まった世界的いじめ反対運動。富山YMCAも2016年から「ピンクシャツデー」を実施しています。同時に私たち自身がいじめについて考えるきっかけとして、昨年、子どもへの暴力防止プログラム(CAP)の中で実施される「おとなワークショップ」を受けました。様々な対象の子どもたちへの実施の前に必ず大人に行われるワークショップです。ワークショップの中で岸さん(富山CAP代表)が、「子どもたちには、『安心して自信をもって、自由に生きる権利が子どもたち一人ひとりにあること、子どもたちの中にその権利を守る力があること』を伝えていきたい。そしてそうした子どもたちに寄り添い、自分にできることを考える大人が増える社会になることを望みCAPを実践しています」というメッセージを伝えられました。

YMCAには保育園、英会話、体操、野外、アフタースクールと様々な活動に多くの子どもたちが参加しています。そしてスタッフ、指導者、講師など多くの大人も関わっています。日常生活、活動やクラスの中でささいなことがきっかけでいじめが発生してしまうこともあります。当事者以外の立場の人はどのように考えるのでしょうか。いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」にならないことが、いじめられている子どもたちを救うこととなります。恒常的ないじめに発展させないためにも、「ピンクシャツデー」をきっかけにいじめについて考えてみませんか？ 今年も2月22日(水)、セーター、ブラウス、小物なんでもかまいませんのでピンクのものを身に着け、みなさんでいじめのない社会を目指しましょう。

## YMCAほっとNEWS

土肥 和美

(富山YMCA事務局長)



いじめのない社会をつくろう

**2/22 (水)** ピンクのシャツを身に着けて

いじめ反対の思いをあらわそう！

CAP: Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)の意味。  
子どもがいじめ、誘拐、虐待、性暴力などの暴力から自分を守ることができる人権教育プログラムです。

## わいわい萩っ子

辻 美穂

(3歳児担当)



### 萩浦保育園 1・2月の行事

1月17日(火) 誕生会

19日(木) 冬のお楽しみ会

25日(水) 避難訓練

26日(木) ぞう組クッキング

2月 1日(水) うさぎ組クッキング

2日(木) くま組クッキング

3日(金) 豆まき

7日(火) 誕生会

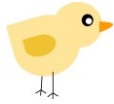


## 元気いっぱい！

子ども達は寒い日もたくさん体を動かして元気いっぱいです。Aクラス、Bクラスが大縄を跳んでいる姿を見て、Cクラスも挑戦！によろよろへびを飛び越えるところからスタートし、ゆらゆらと動く縄をタイミングを見て跳べるようになりました。「回して跳んでみたい！」というみんなの声から、いざ跳んでみると、回ってくる縄とタイミングが合わなかったのですが、晴れている日は園庭で、雨の日は遊戯室で、何回も挑戦すると少しずつタイミングよく跳べるようになり、「1、2！1、2！」とリズムをとって楽しく跳んでいます。たくさん跳べるようになると、「先生！〇〇回跳べるようになったよ！」と満足そうに話したり、「今度いつ大縄する？」とはりきっています。

むっくりくまさんや大根抜きなど、大人数でするゲームも子ども達は大好きです。2つのチームに分かれて対決すると、「おんなのこー！がんばるぞ！エイエイオー！」と自然とかけ声が出てきたり、相手チームに勝つと、「いえーい！」とジャンプをして喜んでいます。

外に出て思い切り遊ぶ機会が少なくなっていますが、体を動かして遊び、友だちと競い合う楽しさや、出来るようになった！という経験がたくさんできればと思います。❀



## 2017年度クラス継続受付のお知らせ

1月の最終週より新年度継続のご案内を開始し、  
**1月30日(月)〔予定〕**より  
 新年度通年クラスの受付を開始します。  
 定員に達し次第、締切りとなります。  
**校費の入金**をもって受付完了となりますので、  
 お早目にYMCA窓口にて手続きをお願いします。

## 第11回 作品展 「いきいきマイライフ」

### チャリティー写真展

### 愛物語 白鳥を見つめて

内山 修さん (舟橋村在住)

■展示期間: 1月10日(火)~2月4日(土)

■場所: 堤町本館1F めくもりラウンジ

■茶話会: 2月2日(木) 13:30~15:00  
お茶代 500円

※ 白鳥の写真を撮られた内山さんを  
囲んでお茶会を催します。お話を  
聞きながら一緒に午後のお茶を楽しみましょう。



## 第7回会員定例会のお知らせ

### 「シリア難民の子ども達」

～トルコでの難民支援を考える～

ユニセフの報告によれば、6年目を迎えるシリア危機の影響で、820万人以上のシリアの子ども達が人道支援を必要としており、内122万人の子ども達がトルコ国内に難民として滞在しているとのこと。

今回の定例会には、昨年12月にトルコ南部のハタイにあるシリア難民キャンプを訪れた川淵さんをお招きして難民キャンプの現状とそこに住む子ども達について話していただきます。多くの方のご出席をお待ちしております。

~~~~~

■とき: 1月26日(木) PM7:00~9:00

■ところ: 堤町本館1階 めくもりラウンジ

■講師: 川淵 映子(「アジア子どもの夢」代表、  
富山YMCA常議員)

■参加費: 500円(コーヒー&スイーツ付)

《問合せ》 富山YMCA 堤町本館(担当: 土肥、宮崎)



## ■1・2月活動のご案内■

### 語学

◆1/30(金)~2/4(土) ワッペンテスト(小学生)

◆2/26(日) ACET(児童英検)テスト  
駅前センター(フリースクール)

◆1/14(土)~15(日) センター試験  
Y's さくらカフェ

◆1月ランチ定食メニュー [700円] ※ランチは毎週火曜日のみ  
+100円で飲み物(コーヒー・紅茶・ハーブティ)がつきます。

17日(火) 茹で豚・白菜と林檎のサラダ・生姜入り玉子焼・みそ汁

24日(火) 鮭のチーズ焼・南瓜サラダ・大根の牛蒡味噌がけ・豆乳汁

31日(火) オムレツ・小松菜のからし和え・ポトフ

◆イングリッシュカフェ(木) 14:20~15:20 一般 1500円、会員 1200円

要予約: 076-431-5588(駅前センター受付)

外国人講師と楽しい会話の時間をお過ごしください。



## 第26回富山市民クリスマス慰労会のご案内

皆様のご協力で素晴らしい市民クリスマスとなりました。心から感謝いたします。この市民クリスマスがさらに広がることを願って、慰労会を下記の要項にて実施します。

★とき: 2017年1月24日(火)午後7:00~8:30

★ところ: 堤町本館めくもりラウンジ

★参加費: 500円+もちよ1品

★当日、DVD、CD(メサイア)の販売をします。ご購入希望の方は事前にお知らせいただければ幸いです。

★お問合せ: 堤町本館「市民クリスマス事務局」(担当: 土肥)

## ★国際協力募金の報告★

募金総額: 128,772円(2017年1月5日現在)

上記の募金総額には以下の募金が含まれています。

●市民クリスマス会場募金(6,762円)

●チャリティクリスマス街頭募金(20,286円)

ご協力ありがとうございます。

募金は継続して受付しています。

引き続きご協力をお願いします



## ふ・ふ・ふ フリースクール

NO.14

新年を迎えた。今年もよろしくお祈いします。雪のない暖かいお正月。お雑煮を食べ、おせち料理を食べた。初詣にも行った。お正月らしく過ごしたはず。なのに、年々お正月らしさがなくなっている気がする。今年は皆さんにとってどんな年になるのだろうか?私はどうな1年を送るのだろうか?このコラムの欄を通じて紹介していくので、楽しみにして下さい。(小田)